

# 近代文学

## 啓蒙期

安愚楽鍋  
仮名垣魯文  
福沢諭吉  
学問のすすめ

## 写実主義

ありのまま  
坪内逍遙  
二葉亭四迷  
小説神髓  
浮雲  
ロシア文学翻訳  
言文一致

## 自然主義

島崎藤村  
田山花袋  
国木田独步  
石川啄木  
破壊  
春  
家  
夜明け前  
蒲団  
田舎教師  
武蔵野  
一握の砂

## 反自然主義

北原白秋  
高村光太郎  
宮沢賢治  
斎藤茂吉  
萩原朔太郎  
三好達治  
中原中也  
邪宗門  
道程  
智恵子抄  
永訣の朝  
春と修羅  
赤光  
月に吠える  
測量船  
山羊の歌

## 詩人

## 漱石と鷗外

夏目漱石  
森鷗外  
彼岸過迄  
行人  
ころも  
青年  
雁  
阿部一族  
渋江抽斎

## 耽美派

永井荷風  
谷崎潤一郎  
佐藤春夫  
雑誌「三田文学」  
ふらんす物語  
すみだ川  
腕くらべ  
濃東綺譚  
刺青  
細雪  
春琴抄  
田園の憂鬱  
都会の憂鬱

## 新しい村

人道主義・個人主義  
自己に忠実

## トルストイ

武者小路実篤  
志賀直哉  
網走まで  
城の崎にて  
暗夜行路

## 白樺派

有島武郎  
お目出たき人  
友情  
愛と死  
カインの末裔  
或る女  
宣言一つ

## 横光利一

蠅  
日輪  
上海  
機械  
旅愁

## 川端康成

浅草紅団  
山の音

## 第3の新人

安岡章太郎  
吉行淳之介  
遠藤周作  
黒い仲間  
驟雨  
海と毒薬  
沈黙

## 中間小説

## 戦後派

三島由紀夫  
大岡昇平  
安部公房  
井上靖  
水上勉  
仮面の告白  
俘虜記  
野火  
壁  
砂の女  
氷壁  
敦煌  
雁の寺

## 擬古典主義

伝統尊重

## 浪漫主義

感情面重視  
形式にとらわれず

## 新現実主義

芥川龍之介  
菊池寛  
山本有三  
地獄変  
奉教人の死  
邪宗門  
藪の中  
歯車  
恩讐の彼方に  
路傍の石

## プロレタリア文学

小林多喜二  
葉山嘉樹  
徳永直  
中野重治  
宮本百合子  
蟹工船  
セメント樽の中の手紙  
太陽のない街  
妻よねむれ  
春さきの風  
村の家  
播州平野  
風知草

## 新心理主義

堀辰雄  
伊藤整  
風立ちぬ  
かげるふの日記  
菜穂子  
詩誌「四季」  
幽鬼の街  
鳴海仙吉  
若い詩人の肖像  
汜濫

## 無頼派

太宰治  
坂口安吾  
織田作之助  
津軽  
斜陽  
墮落論  
白痴  
土曜夫人

## 尾崎紅葉

二人比丘尼色懺悔  
多情多恨  
金色夜叉  
風流仏  
五重塔

## 幸田露伴

森鷗外  
先駆者  
雑誌「文学界」  
北村透谷  
与謝野晶子  
樋口一葉  
島崎藤村  
舞姫  
厭世詩家と女性  
内部生命論  
雑誌「明星」  
みだれ髪  
たけくらべ  
にごりえ  
十三夜  
若菜集  
自然主義へ